

令和7年度 幼稚園概要 (令和6年10月1日の照会に基づく)

幼稚園名称		緑ヶ丘第二幼稚園				
所在地・問合せ先		〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘4-8-17 TEL: 022-234-3030 FAX: 022-234-3045				
定員		160名 (令和6年10月1日現在の在園児数: 100名)				
令和7年度 園児募集定員		満3歳児 の入園	入園の可否	可		
			入園可能時期	随時		
		3年保育(年少)		2年保育(年中)		1年保育(年長)
		20名		10名		若干名
常勤教員数		17名				
給食		実施の有無	あり			
		実施日	週 4 日 (火～金 希望者のみ)			
		調理場所	園外			
通園バス		あり	主なバス 運行範囲	旭ヶ丘、南光台、台原、八乙女、黒松、泉中央		
登園日・教育時間		月・火・水・木・金 8:00～14:00 年間200日程度				
休業日	長期休業日		春休み	3月 24日	～	4月 8日
			夏休み	7月 18日	～	8月 22日
			冬休み	12月 20日	～	1月 13日
	その他休業日		土曜日・日曜日・祝日			
未就園児教室・ クラス	実施の有無		あり			
	未就園児教室名		仙台市広場事業 みどりっこ広場			
	主な活動内容		園の施設、園庭で親子で人との関わりの楽しさを味わい、気持ちを開放して楽しく遊ぶ。			
	対象年齢		活動回数		活動時間	定員
	2～3歳児		4月～3月	36回 毎週火曜日	8:30 ～ 13:30	25名
	1～2歳児		4月～3月	36回 毎週木曜日	8:30 ～ 13:30	25名
	0～3歳児		4月～3月	36回 毎週金曜日	8:30 ～ 13:30	25名
	その他		0歳児 4月～3月 36回 毎週水曜日 20名			
料 金		仙台市の広場事業なので無料				
利用方法		登録制(HPの申込みフォームから)				
特別支援教育		受入れの可否		可		
		方 針		その子らしく伸び伸びと友だちの中で成長し、苦手を少しずつ乗り越え、集団の中でその子のリズムで成長していくのをサポートします。一人ひとりの幼児の育ちを大切にしながら、その子の育とうとする力を育みます。		

保育料等費用	無償化対象(※1)	入園料	0円			
		保育料(月額)	満3歳児	30,000	3歳児	28,000円
			4歳児	28,000	5歳児	28,000円
	無償化対象外(※2)	その他入園時に必要な費用	設備協力金		45,000円	
			保育用品・カラー帽・園帽・遊び着		20,000円	
			PTA会費		5,000円	
		その他月額費用	預かり料金		(利用者のみ)円	
			冷暖房光熱水費		1,000円	
					円	
			給食費		(利用者のみ)円	
その他費用	バス利用料		月額4,000円			

入園料・保育料等費用に対する園独自での減免

年長の2学期からの転入は、設備協力金が1/2に減額

預かり保育	早朝預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限	平日(月～金) 7:15～7:45
		料金(※3)	日額 (3～5歳児)100円 (満3歳児)200円
	通常日預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限	平日(月～金) 14:00～19:15
		料金(※3)	日額 (3～5歳児)30分100円 (満3歳児)30分200円
	休業日預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限	月3回土曜日(年間予定表あり) 7:30～18:30 長期休業中は通常と同じ 7:15～19:15
		料金(※3)	日額 (3～5歳児)30分200円 (満3歳児)30分400円
	実施しない日	日曜日・祝日・お盆・年末年始	
	新入園児の入園式前の利用(4月1日から)	可	
		有料	
	卒園児の卒園式後の利用(3月末まで)	可	
有料			

◆◆幼児教育・保育の無償化について◆◆

- ※1 保育料及び入園料が、満3歳児クラスから月額25,700円を上限に無償となります。
 - ※2 実費として徴収される費用(通園送迎費、食材料費、行事費など)は無償化の対象になりません。ただし、年収360万円未満相当の世帯の子どもと第3子以降の子どもは、副食(おかず、おやつ等)費用の補助制度があります(実施しない幼稚園もあります)。
 - ※3 預かり保育の利用料は、施設等利用給付認定(新2号・新3号)を受けた子どもを対象に、利用日数に応じて日額450円(3～5歳児クラスは月額上限11,300円、満3歳児は月額上限16,300円)まで無償となります。
- ⇒ 詳細は、仙台市ホームページ「幼児教育・保育の無償化について」をご覧ください。
https://www.city.sendai.jp/nintechosa/mushouka_gaiyou.html

副食費用の補助制度	実施あり
児童の安全確保に向けた取り組み	防犯・防災教室、防犯・防災訓練
卒園児の通う主な小学校	黒松小学校、旭ヶ丘小学校、台原小学校
その他(特色など)	子どもが主体的に取り組み、話し合いながら友だちと協同していく楽しさを味わい経験の幅を広げ、教師と日々の保育を創る。また、直接的な体験を多くしながら、生きる力を育む。